

交換留学報告書

* この報告書に記載される内容は多文化社会学部のウェブサイト等に記載いたしますので、予めご了承ください。

氏名	金橋 日菜乃	学年(渡航時)	2年
派遣先大学	フロストバーグ州立大学		
国・地域	アメリカ		
派遣期間	2025 年 1 月	～	2025 年 5 月

履修科目

1 学期目	
履修科目	授業内容
Biology160	生物多様性や動物の仕組みについて知る
Philosophy102	現代社会問題を哲学の観点から学ぶ
Psychology220	女性の心理学について学ぶ
International studies 200	現代の様々な問題を学ぶ
Geography 110	地域ごとの社会問題を学ぶ

留学レポート(1,500 字以上)

私はアメリカのメリーランド州、フロストバーグにある大学に 4 か月間留学しました。ワシントン D.C.の近くにあるため、春休みは首都を観光しました。日本から計15時間ほど離れていて、ロングフライトだったので行くまでにとっても苦勞をしました。ワシントンの空港に着いたら、大学のバスに乗ったのですが、その日は寒くー20度で雪の世界でした。肌がひりつくような寒さでしたが、事前の防寒対策でなんとか乗り切りました。授業が始まる前にオリエンテーションがあったのですが、留学生だけだったのもあり仲良くなりました。授業が始まり、慣れてきたころには友達とバスに乗って買い物に行くようになり、近くのカフェで朝ご飯を食べたりするようにもなりました。しかし、食堂に毎日行っていたのですが、入り口にピザがおいてあり、その匂いはとてもきつく通るたびに吐き気や嘔吐が止まらなかったです。後日日本人の友達に聞くと、同じ体験をしていたそうです。結局最後までなれることはありませんでしたが、ピザはおいしかったです。そして、授業はもちろん英語で専門的なことを習うため、楽しかったですが最初は少し難しく、教授に話し翻訳機を使わせていただきました。どの授業の教授もとても親切で、困ったことがあればメール一本ですぐに助けてくださいました。教授のサポートが日本に比べ本当に手厚く、体調を崩しがちだった私にとっては最高の学び場でした。メリーランド州の首都のような場所に行く日も授業がかぶっていたのですが、教授にメールをすると、欠席扱いにしないから行っておいでと言われ、心おきなく行くことができました。ほかに、提出物の期限を過ぎてしまったら延長することができ、出席点や提出物、テストの点数などがすぐに採点され一目でわかるシステムで、モチベーションも上げることができました。履修した 5 コースのうち2コースは、テストで勉強をしたおかげで翻訳機を使用せず自分の力だけで一番いい評価を得ることができました。それは、私にとって大いなる自信となりました。私は、高校生の時にアメリカの大学に進学したいと考え、選考は動物生態学にすることを夢見ていました。しかし、受験生の時に体調を崩してしまったせいで努力は水の泡になってしまいました。それでも私は、あきらめずに長崎大学に入学後、留学としていくことができました。アメリカで動物生態学を学びたいという夢をかなえるために、授業が始まる前に動物生態学の教授に直談判し、受けることができました。受けてみると、予想と違った分野で私のあまり興味のない解剖学が多く、困惑しました。難しすぎてついていくことができませんでしたが、テストはガイドに沿って勉強し何とか単位を取ることはできました。アメリカでは、勉強以外にもたくさん遊びました。アメリカ人は日本人と友達を作ることに對する考え方が違うようで、アメリカ人の友達はほとんどできませんでしたが、ヨーロッパやほかのアジアの留学生ととても仲良くなり楽しかったです。私がアメリカ人とかわかったのは、毎日のバレーでした。留学生の友達とみんなでバレーをしていたら必ず入ってくるアメリカ人の集団で、毎日一緒にするため仲良くなることができました。週5日 3 時間ほどしていたため、スキルが上達し嫌いだっただバレーが得意になり好きになりました。バレーだけでなく、ハーシーパークというテーマパークや近くのゲームセンターなど、大学のプログラムでいろいろなところに行きました。中でも印象的だったのが、ブロードウェイのミュージカル、ライオンキングでした。それにはドレスコードがあったため、ドレスを着て見に行きました。作品は迫力があり感動的でした。

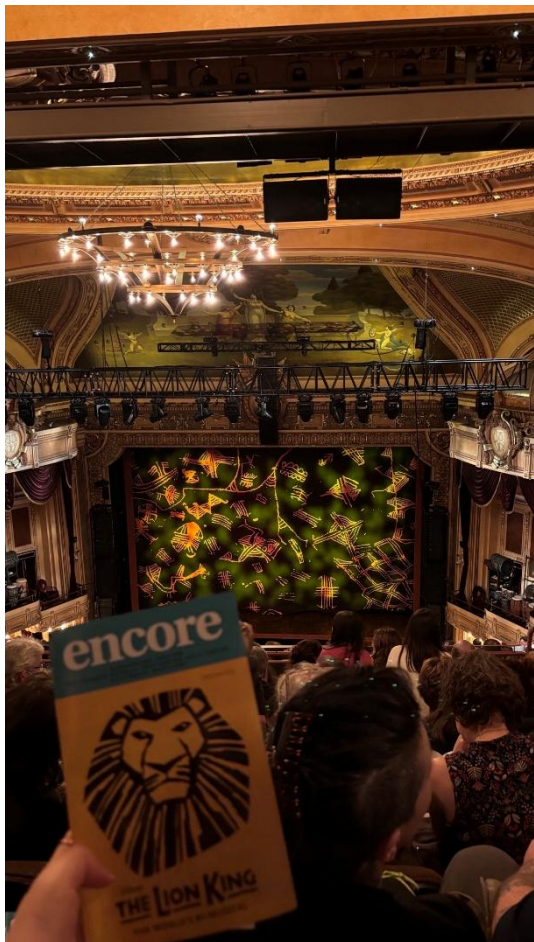
留学中の写真(5枚程度) ※写真のキャプションも入れること



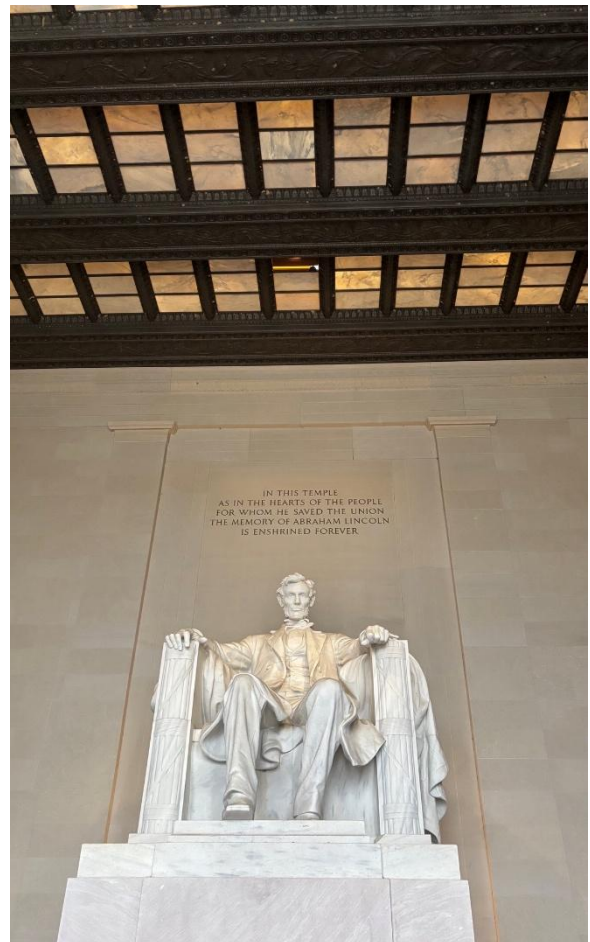
大学内のボブキャットの像



大学の入り口



ブロードウェイのミュージカル、ライオンキング



リンカーンの像



留学生のみんな